

自然観察おもしろ講座

水がつなぐ森と湧き水と小川の生きもの

羽根 敏子（松戸市）

日 時：2024年10月12日（土）9時30分～12時、天気：晴れ

場 所：21世紀の森と広場（縄文の森・みどりの里）

参加者：17名（大人11名 子ども6名）

講 師：羽根（森担当）・寺園（水辺担当）、スタッフ：三嶋・渋谷

1. テーマ

森と低地の水系は雨水によってつながっている。それは森の生き物たち（動物、菌類）の働きによって形成された土壤が重要な役割を果たしている。

2. 展開

①小川でモンドリを仕掛ける。

①森の中で、生き物を採集。

（前日に仕掛けたベイトトラップと、当日のハンド採集）

その際、森の土壤はふかふかしていることを確認する。

②生物を食べ物で5つに分類する。

・生きた植物を食べる生き物 　・枯れた植物を食べる生き物

・生きた動物を食べる生き物 　・死んだ動物を食べる生き物 　・糞を食べる生き物

③ ②から森の林床の生き物の食物連鎖によって、土壤が形成されることを説明。

④低地の湧水を観察する。

⑤土壤は、生物によってつくられ、ふかふかしており保水力を持っている。

（土壤による水のろ過実験）

⑥小川でモンドリにかかった生き物を採集、分類、観察

⑦外来種についての説明

3. 実施してみて

・下見後に、森へ行く道が倒木により通行止めになった。そのため移動が回り道になつて時間が足りなくなつたため、⑤の土壤を通しての水のろ過実験を実施することができなかつた。

・実際に生き物（昆虫、菌類、魚類など）を採集して観察したので、小さい子どもたちでも、興味を持ち続けることができた。

・③の説明にもっと工夫が必要である。



トレー・カップに森の生きものを採取



捕った生きものを分類して観察



みんなで分類を考えてみよう？！